

令和8年 第11回八雲町議会全員協議会会議録

令和8年5月8日 議員控室

○報告事項

(1) 財政健全化（事務事業の見直し）の取り組みについて（財務課）

○出席議員（11名）

議長 大久保 建 一 君
赤 井 睦 美 君
横 田 喜世志 君
関 口 正 博 君
水 野 博 美 君
小 西 雄 一 君

斎 藤 實 君
三 澤 公 雄 君
黒 島 竹 満 君
倉 地 清 子 君
寺 田 広 樹 君

○欠席議員（3名）

牧 野 仁 君
安 藤 辰 行 君

副議長 宮 本 雅 晴 君

○出席事務局職員

事務局長 野 口 義 人 君
庶務係長 千 代 貴 大 君

事務局次長 藤 原 悟 史 君

◎ 開会・議長挨拶

○議長（大久保建一君） それでは、第11回全員協議会を開催いたします。議長あいさつとありますけれども、連休の後、皆さんお疲れのところご苦労様でした。

先ほどの特別委員会の話を踏まえた上で、今回初めて小チームで議会報告会挑むということなので、それぞれのチーム、事前準備はしっかりやっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎ 協議事項

○議長（大久保建一君） それでは、協議事項に入りたいと思います。

財政健全化についてということで、前回、全員協議会で町長部局のほうから財政についての考え方というのがお話しされて、その上で、その場で回答というかな。それぞれの考え方を述べるよりも、まずはそれぞれの会派で考え方をまとめた方がいいんでないかということ踏まえた上での、今回、全員協議会になりますので、まずはそれぞれの会派で考え方っていうものをまとめてきていると思いますので、それぞれまず発表を聞いた上でどう対処していくかということを決めていきたいんだけれども、そのようなかたちの進め方でよろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） それでは、それぞれの会派で発表していただきたいと思います。まず、じゃあ、和醸良政会のほうからお願いいたします。

○議員（黒島竹満君） 会派としては、一回目の会議と同じで、これはやっぱり今から今年度からやるべきだろうという考えであります。あと、町民に周知の仕方っていうのは、やっぱり行政側の考え方があるわけだから、それによって見ながらそういう町民の理解を得られながら、それこそ告知していくのかなっていうのは今後の課題ではないかなというふうに思っています。告知の仕方もあるかなって話だったよね。

○議長（大久保建一君） いや、それはそれでもう会派の考え方でいいということです。

○議員（黒島竹満君） まあ、そういうことで、とりあえずは、今年度からかかっていくべきだろうと思っております。

○議長（大久保建一君） じゃあ、町長部局の考え通り、今年度から財政健全化に取り組んでいるべきということですね。わかりました。次、元気さんお願いします。

○議員（赤井睦美君） うち、まず皆さんで委員会ごとに検討してほしいと思うんですけども、民間でできるものは民間に移譲して、それから本当に無駄がないのかっていう。例えば、私たちはすごく思うのは、よくいろんな計画にコンサルに委託したやつをコンサル業が私はすごくいつも高いなあと思うんですよ。

ですから、総務委員会と文厚委員会で、コンサルにどれぐらい委託しているのかというのは、ちょっと調査していただいて、本当にそれは今のAIも使える時代に役場でできないのか、一番それを使った理由が過疎債だったか、ちょっとその計画を立てるとそのお金がもらえますよって言うんで計画立てたんだけどその計画の内容がちょっと違ってたから、ここ違うんじゃないですかって質問したら、これは補助金をもらうための計画だから使わなくていいんだっていう返答がね、実際行政

のほうからあって、そんな使わなくていいものに、コンサル料をたくさんかけて作ってるっていうこと自体がすごい無駄だと思うんですね。

ですから、AI を駆使して自分たちでできるものはやって、なるべくコンサル料は使わないっていうそういうこととか、それから全部が全部じゃないけれども、残すところ。絶対その残すところを議会として、ここは残さなきゃいけないというところを明確にしなきゃなんでもかんでも削減削減って一律に削減されてしまうと効果が薄れると思うので、議会として残すところをはっきりすること。

あと、子育て支援。今年特に出産祝い金とが出ましたけれども、今までやっていた子育て支援の効果、いろんなことの効果の検証が必要じゃないか。だから、行財政改革の前に、私たちはもっと調査しながら、一律に削減するのではなくて、本当に民間に譲れるものは民間でやってもらい、行政が行うことは行政をやり、その中でも絶対残さなきゃいけないものはきちんと残し、無駄なものを省くという、そういうかたちで進めていってほしいと思っております。以上です。

○議長（大久保建一君）　じゃあ、各委員会で考えてみましょうということですね。

○議員（赤井睦美君）　はい、ぜひ。

○議長（大久保建一君）　したら、次。新風会。

○議員（関口正博君）　はい。牧野さんがいないので代わりにお答えします。私どもはちょっと元気さんと、今回色々協議させていただいて、同じ意見であります。

それで、委員会ベースでいろいろなことを行っていくということと、あと、何を残すかということとをまずしっかりと洗い出しするというのがやっぱり大事だろうなというような結論でもあります。

僕自身はね、財政健全化。先ほどもいろいろ申し上げたけど、そもそも財政健全化なんていうのは当たり前の話でね、これは今の世の中、無駄なんていうものをちょっと当然作っちゃならないわけで、そんなものが改めてこうやって掲げられること自体にちょっとイラッとするんだけど。

けども、行政側は財政主導でいくっていうのは、これまた当たり前っちゃ当たり前な話なので、その意を汲むとすれば、やはり委員会ベースで行うということ。

先ほどの元気さんと同じ意見です。子育て支援も、これは出費が非常に大きい部分でありますけれども、その効果というのがどの程度あるのか。ここも縮減できることは、縮減してやっていきたいと思いますという部分は当然のことであると思っております。

あと、削減できるものを非常に厳しい目標であることは間違いないんだけど、そこにとらわれずに町にとって良いことというものを、まずすなわち必要なものはしっかり残していきましょうっていう裏を返せば、そういうことでありますけれども、無駄はなくしていきましょう。そのためには、委員会単位でしっかりとそれぞれの持ち場で協議していきましょう、ということです。

それで、ちょっと質問してるんだけど、事務事業評価シートってこの自治体にはあるはずなんだけど、教育委員会はそれを連れ出されるんだよね。

だけど、他の課からそれ見たことなんだけど、事務事業評価シートって八雲町ってどうなってるんですたっけっていう。俺、見たことないんだけど。それで、探しても出てこないんだよね。それぞれの課がそれをまとめているのであれば、一目瞭然なんだよね。この事業はどう評価であるとか。ちょっとどこの課でも見たことがない。斎藤さん、これなんか知ってる。

○議員（斎藤　實君）　いや、俺も分からない。基本にして出てきている。

○議員（関口正博君）　ね、そうですね。学校教育課と教育委員会ベースというのが全部出てくるんだけどね。

もしそれがあれば話は別。

○議長（大久保建一君）　あるよね。

○議会事務局長（野口義人君）　あります。3年ないしは、5年サイクルでの事業の見直しを評価している組織があるんですよ。そちらの委員会に諮った中で答えを出せると。

○議員（関口正博君）　そしたら、3年に一回その資料が出てくるっていうこと。

○議会事務局長（野口義人君）　3年に一回、例えば何々事業ってありますよね。子育て事業、例えば出産祝い金。その件については、3年ごとに一応そういう評価の見直しを行って、現状として何かずれがないのか、もしくは評価として必要ないのかということの判断を一定程度示すようなかたちで、かたちとしては、今言った教育委員会が毎年年度末に出しているものを行政側でもあるんですけど、また別の組織のほうに報告をもらった中で審査するということなんですよ。

○議長（大久保建一君）　そしたら、3年過ぎたものについては、それはあるってことですよ。

○議会事務局長（野口義人君）　3年、もしくは4年、5年サイクルで必ずその事業は一回見直しをして、それ以前にもし必要ないという事業が時の情勢によってあれば、それはもう落としてますけど。だから、含めて毎年継続的にやっている事業は、最低限3年ごとにサイクル的に見直しをして評価してます。

○議員（関口正博君）　職員ベースでは、そのような話し合いをされたということなんでしょう。

○議会事務局長（野口義人君）　やってます、毎年ね。

○議員（関口正博君）　だから、事務事業評価シートの徹底をお願いすれば、これはお互いに仕事はとても早いんじゃないかねえのかなというふうに思うけど、今の財政健全化は、あまりにも漠然としすぎててさ、行政がいうのはね。なんか話し合うベースのものがあればいいんだけど。

○議員（倉地清子君）　ネットで見れますよ。

○議員（黒島竹満君）　財政改革したら出てくるしょ。

○議長（大久保建一君）　求めれば出してもらえるの。

○議会事務局長（野口義人君）　可能ですね。

○議長（大久保建一君）　だから、各委員会でそういう所管事業で、そういうものがあるのであれば、そういうのを出してくれって求めることはできるってことですよ。

○議員（関口正博君）　それはだから、全協だけじゃなくて委員会ベースで、今後も項目ごとにそういう対応したほうがいいから。

○議員（黒島竹満君）　財政改革した時は絶対出てくると思う。今までの事業の経過とか。

○議員（斎藤　實君）　なかなか目に触れることない。

○議長（大久保建一君）　以上でいいですか。

○議員（関口正博君）　はい。

○議長（大久保建一君）　次、春夏秋冬。

○議員（倉地清子君）　私たち春夏秋冬としては、今回定例会で予算特別委員会で長い間審議して、それが結果として決まった直後に、この財政健全化という話を受けたんですけど、あまりにもちょっとあれだけの時間をかけたのに、なんでというのが正直あります。

なので、黒島議員の会派の言ってる、今年度からやっていくべきだっていう逆で、今年度はこのまま補助金とかいろんな部分で見直して整理をしていく部分はあるなと思うので、健全化に反対はしていませんけれど、今年度はこのままいってほしいなという思いがあります。

それで、ふるさと納税をなしの状態だという提案を受けましたけれど、私ずっと。これは個人的な話ですけど、町長に質問させていただいたウイスキーのことについてのこれからの費用対効果っていうか、そのことについてどのように考えているかって聞いたときに、ふるさと納税でもこれから使用していける魅力的なものだということをおっしゃってありました。ということは、ウイスキーはこれからのものだし、ワインもこれからです。それで、サーモンはまた増やしていく。そういう今ある、これからできる資源をまたフル活用できる、そういう段階のときに、ふるさと納税なしの考え方は、ちょっと何かまた違うのかなっていう。そこを活用し、収益に持っていくという考え方はないのかなということを開きたいな、という話をしました。

あと、補足ありますか。

○議員（寺田広樹君）　そうですね、ふるさと納税でいえば、今言ったみたいなサーモン、ホタテ、ウイスキー、ワイン。これからどんどんふるさと納税の返礼品になりうる八雲町の商品がありますので、今判断するのは、時期尚早。ふるさと納税についての依存、脱却については、まだ様子を見たほうがいいかなと思うのと、あと、実質公債費比率を見ても、これは財源に対しての借金返済率なんですけども、令和8年度8.8%なんですね。

これを調べたところによると、8.8%であれば財政はまだ健全だっていう自治体。健全だということですので、それを踏まえてみても今年からではなく、1年見てもいいのではないかなと思います。

○議員（三澤公雄君）　会派としてはね、無理無駄っていう一括りにされちゃうけれども、確かに岩村町政の12年間無理はあったかもしれないけど、当初予算この間、議決しましたけど、無駄はないのは当然だ。先ほど、関口さんがおっしゃったように、行政のあり方として無駄はないのが当たり前だと思ってるんです。

だから、無駄の見直してということに関しては、財政健全化ではなくても当然のことだと思います。なので、当初予算を通したばかりの時に、まるで川代町政の財政健全化を経験してきたから、余計すごく萎縮するしゃべり方だった。ふるさと納税を全否定するような説明だったんで、そういう危機感から先ほど2人が申したように、まだまだふるさと納税に稼ぐ要素はあるの。頼るっていう気持ちは、否定するならわかるんですけど、やらない。まるで、もうそこで稼ぐのを諦めるみたいな発信をされたことに関して非常に違和感を持って、今のようなまとめ方になりました。

○議員（黒島竹満君）　はい。

○議長（大久保建一君）　黒島議員。

○議員（黒島竹満君）　先ほど、今すぐ財政改革をやれっていうような話でないんだよ。この間も、町長部局のほうから今すぐ見直しかけていくっていう話になかったでしょ。今から考えて、今年から考えていかなければならないという話なんだよ。

この間、それこそ新年度予算を時間かけて通したばかりなのにつて今発言したけれども、そうではないの。結局、町長部局のほうでは、今から考えていかなければならないって来年になってすぐかかるよってなったら町民の声が大きくなるから、今から直せるものは見直しできるものは見直す方向で考えながらやっていくよっていう話だなというふうに私は聞いてるんだよ。

だから、来年に入ってやるよりも今年からそういうかたちの中で町民にアピールしながら改革をしていかなきゃダメでないのっていうことを言ってるわけだ。予算を通したものを今やれっていう話でないだよ。それだけ勘違いしないで。町長部局のほうの説明もちゃんと理解して、やっぱり考えないと。そういうことですから。

○議長（大久保建一君） それで、まず各会派の考え方が出揃ったので、まずこれから今後、議会としてどうしていくかということなんですけれども、今のところ皆さんのご意見を聞いたところ、まず無駄を見直していくということは、当然のことと考えているということは皆さん共通の思いだと思いますので、議会として今何かを例えば、この間報告したことをそれはやめなさいというようなことではないとは思いますが。

ただ、今回出た各会派の意見をまとめて町長部局に伝えていただくというようなことはしたいと思いますが、議会として何か駄目だとか良いとかっていうことの意見をこの場でまとめて伝えるということはないということで、よろしいですか。

（「はい」という声あり）

それでは、皆さんの考え方をまとめると、各委員会が今まで以上にきちんと無駄のない事業を行っていくとか、事業の費用対効果を求めるとか、何年かにいつペンの事務事業評価というものをきちんと我々も判断していくということを徹底していくということで、よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） あと、何かご意見あれば伺います。

○議員（赤井睦美君） ごめんなさい。

○議長（大久保建一君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 言われてたんですけど、町長がどこかの時点で予算委員会だったか何だったかちょっと忘れちゃったんですけども、デジタル化にすごくお金がかかるんだっていう発言があってね、それを聞いた時に止めないでほしいなって自分は思ったんですね。

いや、だからやめるとかやめないとかっていう、その後の言葉はなかったんですけど、デジタル化ってすごくお金かかるんですよっていう答弁があったから。だけれども、やっぱりそれ止めちゃったら、人が少なくなるときにやっぱりダメだと思うので、そこは進めながらやっていってほしいなというのは、強く要望したいです。

○議長（大久保建一君） というご意見も。

○議会事務局長（野口義人君） 今、庁舎委員会のほうでも出てますんで、それは尊重すべきだと思います。

○議長（大久保建一君） 他ございますでしょうか。

○議員（関口正博君） 話題は何でもいいの。

○議長（大久保建一君） 話題っていうか、この財政健全化について。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） じゃあ、財政健全化については以上のことを町長部局にお伝えするということかたちでよろしいですね。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） 分かりました。それでは、協議事項の1番については、これで締めたいと思います。

続きまして、その他持ち合わせの方いらっしやれば。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 昨日、僕、前回阿部島院長がご挨拶状をいただいて、昨日準備するのにかごを開けたらその挨拶状入っていたもんだから開けたんだけど、皆さん見てると思うけど、これまでの院長が名誉院長になっているんだよね。

それが、これまで八雲総合病院に名誉院長などの役職があったのかどうかは知らないんですけど、別にそれを何も否定するとかじゃないけど、いろいろやっていかなきゃならないときに名誉院長ってなんやねんっていう。財政をこれだけを悪くした名誉院長なのかと。

だけど、こういうものもちゃんと行政側が把握してね、当然、行政側が配っているんだろうから、中身に関しては把握してるだろうけど、町長がちゃんとそれを許してね、いや、いろんな書き方、名誉顧問とかならいいだろうけど、なんだ、その名誉院長って聞いたことねえよ、そんなもん。ましてや、こんな大赤字の病院で今の時期に変わる院長なんでね。それは、ちょっと不思議に思ったんだけど、これから特別委員会も活発になってくれば、その辺も触れていかなきゃならないと思うけど、皆さんもちょっとこれ1つ病院の先生たちの体制のことを考えるきっかけになってくればいいなと思い、皆さん気付いているかもしれないけど、名誉院長だって。

○議員（三澤公雄君） 特別委員会のネタになると思ってました。

○議員（黒島竹満君） やっぱ残る人をそのくらいのことは考えねえばなんないんじゃないの。

○議員（関口正博君） まあ、これからのあれとして。

○議員（黒島竹満君） 病院で残ってこれからもやっぱり治療をやるわけだから、そしたらやっぱりそのくらいの肩書にはしないとならないんじゃないかなと思うんだよね。

○議員（関口正博君） 働いてもらうにあたってかい。

○議員（斎藤 實君） その推移がね。

○議員（黒島竹満君） それはさ、捉え方だからそのへんは理解してやらないばだめじゃねえの。

○議員（関口正博君） だけど、もっとなんかあるんじゃないっていう。

○議長（大久保建一君） はい。これについて何かご意見あれば。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） いいですか。まあ、この件に関して言えば、三澤君の言うとおりの、病院の経営改善のほうの特別委員会に大きく関係あることだと思いますし、それが本当に名前だけのものなのか、給与法においてどういう扱いになるのか、そこら辺もちょっとわからないので、きちんと特別委員会のほうで今後考えて、もし、それが財政を悪化させる一因になれば、また何か考えなきゃならないなと思うので、そこら辺は、特別委員会のほうにお任せするという事で、よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） いいですか。

○議員（斎藤 實君） 給料は高くしてるとは思われなないけどな。

○議員（関口正博君） それだったら斎藤さん名誉議員になれる。

○議員（黒島竹満君） はい。

○議長（大久保建一君） 黒島議員。

○議員（黒島竹満君） その件について、今町民説明会あるわけですよね。そのなかで、結局この財政改革だとかいろんな部分も出てくると思うんですよ。だから、病院の関係も町民の考え方ってどういう考え方をしているのか、各チームで聞き取りしてほしいですよね。

でも今はまだ委員会の小委員会もまだ立ち上げてないけども、調査項目だとかいろいろなものを今考えていますので、その部分を持って町民の考え方っていうのも聞いてほしいというふうに思っていますんで、ぜひそういうふうをお願いしたいなというふうに思ってます。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） はい。という意見がございますので、特別委員長のほうから、これについて議会報告会に各チームで聞いていただきたいということがありましたので、それはそのとおりにやっていただきたいと思いますので、お願いいたします。

他でございますでしょうか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） なければ、事務局からありますか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） そしたら、以上持ちまして、全員協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。

〔閉会 午前10時57分〕